

近畿中国局フォレスターNEWS

森林共同施業団地の現地検討会を開催



木材集積場の共同利用の検討
(桜番所付近：悟入谷国有林)



森林作業道の相互利用の検討
(古野裏山国有林)

三重森林管理署は12月13日、森林整備センター津水源林整備事務所(三重県)、いなべ市(三重県)、岐阜県森林公社(岐阜県)、西濃農林事務所(岐阜県)、海津市(岐阜県)、西南濃森林組合(岐阜県)と悟入谷・古野裏山地域森林共同施業団地の事業実行に係る現地検討会を開催しました。

当日は、①水源林整備事務所と調整した国有林の搬出間伐、森林作業道の作設等実行箇所状況の確認、②国有林及び水源林整備事務所、岐阜県森林公社、海津市太田自治会の次年度以降の事業計画の確認、③今後作設する国有林の森林作業道と水源林整備事務所、岐阜県森林公社のトラック道、海津市太田自治会の林業専用道との連結、④本年度に国有林が作設した木材集積場の共同利用の計画の検討、⑤国有林が作設を検討している木材集積場の現地確認とその共同利用についての検討を行いました。

三重署では、今後、森林共同施業団地の連絡調整会議を開催し、団地内の各事業が効率的で円滑に実施できるよう、協定者間の疎通を積極的に進めていきます。

(前回の取組は、平成28年度11月号を参照ください。)

※ 国有林の森林作業道は、幅員：2.5～3.0m、縦断勾配：概ね14度(25%)以下。森林整備センターのトラック道は、幅員：3.0m、縦断勾配：概ね10度(18%)以下。岐阜県森林公社のトラック道は、幅員：2.5～3.0m、縦断勾配：使用する車両による。

白山市森林林業振興推進会議を開催(石川県)

白山市森林林業振興推進会議が、1月16日、白山市役所鶴来支所で開催されました。

同会議は、石川県と石川森林管理署のフォレスター等による市町村支援の一環として石川県、白山市、石川署の関係者により発足した会議で、今年度は、「白山市森づくりプラン」(白山市森林整備計画)の策定支援を行っています。

当日は、石川県森林管理課、同県石川農林総合事務所、白山市林業水産課、石川署から計11名が出席し、これまでの会議での意見を盛り込んだ同プラン(案)について、意見交換と最終確認を行いました。

これまで、同プラン策定のため、地域の森林・林業関係者からの「現場の声」の聞き取り、国有林における現地検討会の開催、作業部会の開催等に取り組んできました。

その結果、同プランには、①主伐・再造林一貫作業システムの推進、②コンテナ苗の活用、③列状間伐の推進、④郷土樹種の活用、⑤大径材の用途開発等が、新たに記載されることとなる見込みです。

同プラン策定後は、いかに現場に反映・実践していくかが課題となることから、引き続き、同会議を中心に関係者で必要な検討を行っていくこととしています。

(これまでの取組は、平成28年度8月号、11月号を参照ください。)



箕面国有林で現地検討会を開催（大阪府）



森林整備事業地の説明



首くくり罟の説明

京都大阪森林管理事務所は1月31日、今年度に主伐・再造林を実施した大阪府箕面市の箕面国有林で、現地検討会を開催しました。

当日は、大阪府、箕面市、高槻市、京都府、京丹波町、滋賀県、米原市、京丹波森林組合、滋賀北部森林組合、森林整備センター近畿北陸整備局から41名、近畿中国森林管理局、京都大阪森林管理事務所、滋賀森林管理署、福井森林管理署、石川森林管理署から29名の計70名が参加しました。この検討会は、民有林と国有林の連携した取組の一環で、国有林の取組を紹介し、現地で意見交換することによる民国の協力関係の強化を目的としています。

現地では、京都大阪所から、①生物多様性の保全等に配慮した複層林への誘導、②伐採から造林までを一連の作業として行う一貫作業システム、③コンテナ苗の活用、④植栽本数の削減、⑤立木を利用したシカ防護柵の設置について説明しました。

また、請負事業者の現場代理人から、「コンテナ苗を100本ずつダンボールに入れてフォワーダで運搬し、その後、苗木袋を持って人力で植え付けた。植付は、穴開け1人、植付と踏付け1人の2人一組で行い、三組が半日で2千100本植えた(700本/人日)」、「シカ防護柵もフォワーダで運搬し、防護柵の中を仕切るように防護柵を追加設置して、苗木の全滅を防ぐ対策を行った。」と事業内容を解説しました。

その後、京都大阪所から早生樹(センダン)の試験植栽について説明、同局の箕面森林ふれあい推進センターからシカ捕獲のための首くくり罟について説明し、参加者で意見交換を行いました。

京都大阪所は、今後も、このような現地検討会のほか、様々な機会を捉えて民国連携の推進を図っていく予定です。

県と第2回地域林政連絡会議を開催（和歌山県）

和歌山森林管理署と和歌山県は1月31日、和歌山県庁で第2回地域林政連絡会議を開催しました。

和歌山県からは、①平成29年度重点施策の概要、②獣害対策、③平成29年度開校の林業大学校、④県発注の一貫作業システムの現地研修会、⑤生産事業における委託市場への出材、⑥土木工事における木材利用、⑦少花粉スギの採穂園の整備とコンテナ苗の増産、⑧企業の森82箇所を5年後に100箇所とすること等について説明がありました。特に、林業大学校については、国有林のフィールド提供や指導等の協力依頼を検討中とのことでした。

和歌山署からは、獣害対策、コンテナ苗植栽見学会、低コスト造林現地検討会の開催等の情報提供を行いました。また、森林総合監理士の取組の推進を目的に、情報共有や意見交換等を行う会(団体)の結成について、県に協力を依頼しました。

和歌山署は、今後も県とより一層の疎通を図り、国有林のフィールド提供を行いつつ、各会議・検討会等に参加することにより情報収集・共有を行ったうえで、地域課題の解消に向けた取組を進めます。(第1回の会議については、平成28年度7月号を参照ください。)



林野庁

近畿中国森林管理局

技術普及課



国民の森林・国有林

TEL : 06-6881-3524 FAX : 06-6881-2055

URL : <http://www.rinya.maff.go.jp/kinki/>

〒530-0042 大阪市北区天満橋1丁目8-75

編集後記

石川県の記事に関連して、1月27日、同県の平成28年度林業普及活動・技術研究成果発表会で石川農林総合事務所から発表された「白山市森づくりプラン策定支援活動について」が最優秀賞に選ばれました。

おめでとうございます。また、今後とも民国連携した取組をよろしくお願いいたします。